

目 次

I. 総括研究報告

早老症のエビデンス集積を通じて診療の質と患者 QOL を向上する全国研究

代表研究者 横手 幸太郎

- (資料1) Intellectual disability and abnormal cortical neuron phenotypes in patients with Bloom syndrome.
- (資料2) Renal dysfunction, malignant neoplasms, atherosclerotic cardiovascular diseases, and sarcopenia as key outcomes observed in a three-year follow-up study using the Werner Syndrome Registry.
- (資料3) Senescence-associated inflammation and inhibition of adipogenesis in subcutaneous fat in Werner syndrome.
- (資料4) Sex differences in symptom presentation and their impact on diagnostic accuracy in Werner syndrome.

II. 分担研究報告

1. ウェルナー症候群：診療の質および患者QOLを向上する全国研究

- 分担研究者 前澤 善朗
- 分担研究者 加藤 尚也
- 分担研究者 竹本 稔
- 分担研究者 中神 啓徳
- 分担研究者 窪田 吉孝
- 分担研究者 茂木 精一郎
- 分担研究者 谷口 俊文
- 分担研究者 渡邊 一久
- 分担研究者 谷口 晃
- 分担研究者 忍足 俊幸

- (資料1) 第66回日本糖尿病学会学術集会 プログラム
- (資料2) 第65回日本老年医学会学術集会 プログラム
- (資料3) IAGG Asia Oceania regional Conference 2023 プログラム
- (資料4) the 1st Norway-UK joint meeting on ageing and dementia. プログラム
- (資料5) 内科学会地方会 教育セミナー プログラム
- (資料6) ウェルナー症候群の診療経験のある医療機関のリスト
- (資料7) ウェルナー症候群悪性腫瘍スクリーニング論文原稿
- (資料8) ウェルナー症候群眼科学会への啓発文書
- (資料9) 若年ウェルナー症候群の診断の指針
- (資料10) ウェルナー症候群ハンドブック
- (資料11) ウェルナー症候群英語版ハンドブック
- (資料12) ウェルナー症候群Webサイト英語版

2. ハッチンソン・ギルフォード症候群の新規治療薬ロナファルニブの

国内承認に向けた取り組みと全国調査（詳細調査）

- 分担研究者 井原 健二
- 分担研究者 松尾 宗明
- 分担研究者 小崎 里華

3. ロスムンド・トムソン症候群のリーフレット作成

- 分担研究者 金子 英雄
- 研究協力者 大西 秀典

- (資料1) ロスムンド・トムソン症候群のリーフレット

4. 研究成果の刊行に関する一覧表